

12

HIGASHI COMPASS

junior high school

2025年
12月24日

心豊かに

校長 林 武宏

12月はオーケストラ鑑賞教室からスタートをしました。かつては、大型貸切バスで全校が移動する校外学習もありましたが、今はありません。移動さえもが生徒にとっては貴重な経験となりました。私は1号車。3年A組と同乗して現地に向かいました。高井戸ICから高速道路に乗り、墨田区へ。3年生もこの日ばかりは「受験」ということを一時忘れて、コンサートを楽しんでほしいと願っての全校参加でしたが、行きの車内は大変に明るく、車窓から見える建物や看板、景色に盛り上がり、鑑賞教室を楽しみにしてくれているようで私も嬉しくなりました。朝の集合で発車時間に間に合わず、後の号車に違う学年と乗る生徒がいたり、途中コンビニでトイレをお借りする号車があったり、小さなハプニングはありましたが、無事にすみだトリフォニーホールに全員が時間通りに到着しました。コンサートは大変に素晴らしいものでした。ここでは詳細は割愛します。文化庁が都内の小中学校に呼びかけた公演で、1800席を有する大ホールは、都内公立・私立の小中学校、計11校の児童・生徒で満席。全校単位で参加した学校は珍しかったようですが、小学生も中学生も楽しめるように工夫されたプログラムに、時に笑いあり、時に手拍子あり、そして静かにオーケストラが奏でる音楽を楽しむ、そんな時間を過ごすことができました。ずっと座ったままの1時間という時間は、決して短い時間ではありません。開演前は、途中一時退出する生徒がいることも想定した打ち合わせをしていました。けれども、当日終わってみれば、本当にあっという間の1時間。途中で退出する生徒は一人もおらず、全員がコンサートを楽しむことができました。

今回は文化庁の採択事業として、小学生や中学生に広く芸術文化に触れる機会を提供することを目的とした事業ですから、当日は公演の中でも、また終了後も文化庁からの依頼として、「文化事業といわれるオーケストラ・演劇・ミュージカル・バレエ・伝統芸能などを間近で見るのは初めてだったかどうか」というアンケートの依頼もありました。アンケートの結果は、参加した約250人の生徒のうち、「文化事業が初めて」と答えた生徒は、154人。約6割の生徒にとっては、今回のオーケストラ鑑賞が初めてで、貴重な体験だったということになります。

なかなかご家庭でこうした文化体験をさせることは難しいと思います。特にCDE組の生徒にとっては、未知のことへの本人のモチベーションも上げにくいでしょうし、保護者にとっては周囲への配慮というハードルもあるでしょう。だとすれば、これは学校で与えるべき体験であり、学校の役割だと私は考えました。今回オーケストラを鑑賞して、多くの生徒から「また聴きにきたい」「今度は家族と楽しみたい」という感想をもらいました。学校での体験が、今後の豊かな余暇につながるのだとしたら、それは嬉しいことですし、まさに「豊かに生きる」ということにつながる学びと考えます。来年度は、日帰りにて全校で文化事業を楽しむ、そうした校外学習を設定します。オーケストラ、ミュージカル、演劇、あるいは日本の伝統芸能か、まだまだ多くの白紙ですが、今後企画を進めていきたいと思っています。

いよいよ2学期が終わろうとしています。ちょうど1年前のこの学校通信で、今年の漢字について記し（昨年は『金』でした）、2025年は『平和で穏やかな一年となり、「今年の漢字」もそんな世相を反映した漢字となることを願ってやみません。』と書きましたが、今年は『熊』。残念ながら、平和で穏やかな1年ということを表す漢字ではありませんでした。来年こそ、穏やかで、皆の心が豊かになるような1年であったことを表す「今年の漢字」となることを願いつつ、筆をおきたいと思います。

2026年も、生徒の将来のために必要なことを考え、適切な教育活動の展開に努めていきます。

それでは皆さん、よいお年をお迎えください。



英語スピーチコンテスト(AB組)

<本選出場者（発表順）>



<祝 優秀賞>

1年生：内藤さん
2年生：齋藤さん
3年生：川島さん

英語スピーチコンテストを12月12日に行いました。クラス予選を経て、13名の代表者が本選出場を果たしました。今年度はテーマを一新しました。1、2年生は自分にとっての「ヒーロー」について、この1年半での成長について、それぞれ直近で習った文法を用いて個性が光るスピーチになりました。3年生は3年間の集大成として自由に英語で自分の考えを述べました。自分の経験を踏まえての意見の構成をする、自分が気にかけているトピックについて賛成反対どちらとも意見に触れながら主張するなど、内容面、英語力共に素晴らしいスピーチを見せてくれました。どの学年も非常にレベルの高いスピーチ大会となりました。

クラス	氏名	タイトル
1年	奥川さん	The best character 最高のキャラクター
1年	滝本さん	The person I respect 私の尊敬しているクリエイター
1年	内藤さん	The person I admire 私の尊敬している K-POP アイドル
1年	岡部さん	The best soccer player 最高なサッカー選手
2年	伊藤さん	My tiny growth 私のちっぽけな成長
2年	田中さん	What taught me success 成功の元
2年	山本さん	The secret of my growth 成長の秘訣
2年	長谷川さん	My new hobby 私の新しい趣味
2年	齋藤さん	Sow a thought, reap an action 考え方が変われば行動が変わる
3年	川島さん	The magical power of words 言葉が持つ魔法の力
3年	高橋さん	The use of AI AI の使用について
3年	堤さん	Making an effort 努力すること
3年	福山さん	The actual effect 本当の効果

【テーマ】

- 1 学年：My Hero（私のヒーロー）
- 2 学年：My Personal Growth at Junior High School
（私の中学校での成長）
- 3 学年：My Opinion on...（私の意見）



オーケストラ鑑賞教室 ～生徒の感想～



12月3日(水) 文化庁による文化施設等活用公演として、すみだトリフォニーホールで実施された鑑賞教室に全校生徒で参加しました。新日本フィルハーモニー交響楽団、サキソフォックス、伶楽舎の皆さんの素晴らしい演奏に寄せられた生徒からの感想をご紹介します。

- ・「今回、生のオーケストラを初めて鑑賞しました。楽器の種類をよく知らなかったのですが、曲にのせて1つずつ紹介してくれたので楽しく鑑賞できました。」
- ・「あれだけの勢いで音を揃えて演奏していることにびっくりしました。どの団体の演奏もキレイで、聴いていて気持ちいいと思う音楽は人生で初めてでした。また聴きたいです。」
- ・「知っている曲も、生で聴くとまた違った感動があり、思わずリズムにのってしまいました。スピーカー越しではなく生で聴くことの凄さがわかりました。」
- ・「サキソフォンのアンサンブル、またオーケストラの対話など、色々な音色・表現を楽しむことができました。特に雅楽とオーケストラのコラボが印象的でした。今日のような貴重な機会を忘れずにいたいです。」
- ・「1曲目の演奏が始まったとき、会場の雰囲気が一瞬と変わったのを感じ、迫力に圧倒されました。これがプロなんだと実感しました。」

探究科 全国学芸サイエンスコンクール(旺文社)

3年生が昨年2年次に提出した探究科の作品の中から数点を選抜し、学校代表として今年度の旺文社主催「第69回 全国学芸サイエンスコンクール」に応募したところ、以下の通り2名が入選となりました！同コンクールは、1957年から青少年の学術・科学・文芸の振興を目的に毎年旺文社が実施しているもので、内閣府・文科省・環境省からも後援を受けており、今回も7万点を超える応募があった規模の大きなコンクールです。社会科自由研究部門(中学生の部)では1,546点の応募があり、この中で見事に2名が入選に選ばれました。「全国学芸サイエンスコンクール」のHPにて詳細を確認できますのでぜひご覧ください。

○社会科自由研究部門

《 旺文社赤尾好夫記念賞 入選 》

3年 穀野さん

『情報の真実』～情報リテラシーを高めよう～

3年 末永さん

NEWヘルプマークを作る!! 母から見たヘルプマーク

7年連続
入賞!





「コラボ授業」 1、2学期の実施内容より

「教科横断型(コラボ)」授業では、複数の教科の先生がそれぞれの専門性を活かして、あるテーマに沿って一緒に授業を展開していきます。それぞれの教科で学んだことが結びつき、多角的な視点をもつことで理解は深まります。コラボ授業は、東中オリジナルの授業で、シラバス内に位置づけられ定番となったものがある一方、毎年、先生方の新たな試みがあり、常に発展し続けています。今回は1、2学期に行われたコラボ授業のいくつかを紹介します。



音楽×保健体育 「走る速度と音の関係」

様々な音楽にあわせて身体を動かし、それぞれ異なったリズムの取り方を実践することで、演奏においてリズムをキープできる力の向上、周囲と息を揃えること、また運動において自分にあったペースを見つけることをねらったコラボ授業です。はじめは曲に合わせての動きに苦戦する様子が見られましたが、徐々に一定のリズムを取るコツが身についていきました。

技術・家庭科×保健体育「理想的なコンディションを作る食生活」

体育では運動前後の体調や動きの変化を体感し、家庭科ではエネルギー源となる栄養素や食事の内容・タイミングについて学習しました。実際の運動経験と学んだ知識を結び付けることで、食事が体調管理やパフォーマンスの向上、心身の安定に深く関わっていることに気づき、日常の食生活を見直そうとする姿が見られました。

技術・家庭科×理科 「生物のからだのつくり～イカの解剖～」

イカは軟体動物の代表として、ヒトとの体のつくりの共通点や違いを学ぶのに適した教材です。実際に各部を見ていくと、「口」だと思っていたところが「漏斗」だったり、墨袋が意外に小さかったり、内臓が外套膜からなかなか剥がれなかったりと生き物としての生命を感じ、「食材」として「作って食べる」だけでは知りえない学びがありました。解剖をしたイカはしっかり火を通すことを意識して、他の具材と合わせたパエリアにして食しています。解剖中は生臭さの強いイカですが、調理をすることで匂いが気にならなくなることも自分で調理し食すことによって得た気づきです。「生き物」を無駄なく利用するためには調理という行程が「美味しく食べるためだけではなく、安全に食べるためにも必要であることを再認識することが出来ました。

美術×数学 「黄金比と白銀比」

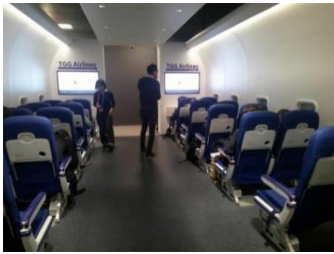
黄金比や白銀比がどのような長方形から導かれるのか計算して理解した後、これらの比が美術作品の中でどのように活用されているのかを何点か実例をもとに学習しました。古代の建築物から現代のキャラクターデザインまで幅広い様々な例をみる中で、「こんなところにも使われているのか」「バランスの美しさには理由があるのか」と驚きの表情が見られ、視野が広がる良い機会となりました。



1・2年AB組 TOKYO GLOBAL GATEWAY語学研修

今年度も1・2年AB組は、12月10日に東京都の体験型英語学習施設であるTOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)で語学研修を行いました。各学年7～8名のグループに分かれ、「エージェント」と呼ばれるイングリッシュ・スピーカーのスタッフの方が1名ずつついて、アクティビティをリードしてもらいながら活動に取り組みます。施設内には、指令が書いてあるカードをもとにミッションを達成する「アトラクションシーン」と、英語を使いながら様々な活動に取り組む「アクティブイマージョンシーン」の2種類の体験があり、学年ごとに異なる4つのセッションを体験しました。

「アトラクションシーン」では、マーケット、ホテル、飛行機内、レストラン等での会話をミッションとして活動しました。「アクティブイマージョンシーン」では、1年生はiPadを使って、コマ撮りアニメーションを作成する、空港にある標識を「誰が見ても分かる」デザインにするという活動をしました。2年生はプログラミングを英語で行い、ロボットに「ケルトの結び模様」を描くアクティビティや、「貧困の連鎖」を断ち切るためにできることを考えプレゼンテーションをしたりしました。それぞれ培ってきた英語力をより実践に近い場で試すことができる良い一日になりました。



12月の部活動試合結果と今後の予定

バスケットボール部

- 東京都私学対抗戦(女子)予選リーグ(12/14 実践女子中)

対 実践女子 20 - 48 負 対 山脇学園 21 - 14 勝 対 穎明館 19 - 24 負 Aグループ4位

体操競技部

- 東京都中学校体操競技新人大会(11/23 成城中学校、11/30 跡見学園中学校)

落合さん 個人総合 17.50

村岡さん 個人総合 17.35

松永さん 個人総合 30.10(10位) 跳馬 11.50(4位)

卓球部

- 中体連第10ブロック令和7年度新人卓球大会(12/13 立川第四中学校、12/14 小金井第一中学校)

12/13 女子団体 親善試合のため1回戦のみ参加

12/14 男子団体 1回戦: 対 国立二中B 勝 2回戦: 対 早稲田実業A 負

